

鬼の被害に悩まされる
とある村

鬼狩りに鬼退治を
依頼したのだが

この間来て頂いた
鬼狩り様が

村長

未だ
お戻りになりませんで

事情はわかった
直ちに救出、鬼の殲滅に
あたろう

あの強いお姉様が
鬼に後れをとるなんて

信じられない

きつと何かの
間違いに決まっている

名門桐生院家鬼狩り
桐生院 雛

よう小娘
ここからは俺たちの
縄張りだぜ

小鬼か

我が名は
桐生院雛
依頼により貴様らを
討伐する

桐生院？
この間の奴も
桐生院とか言ってたな

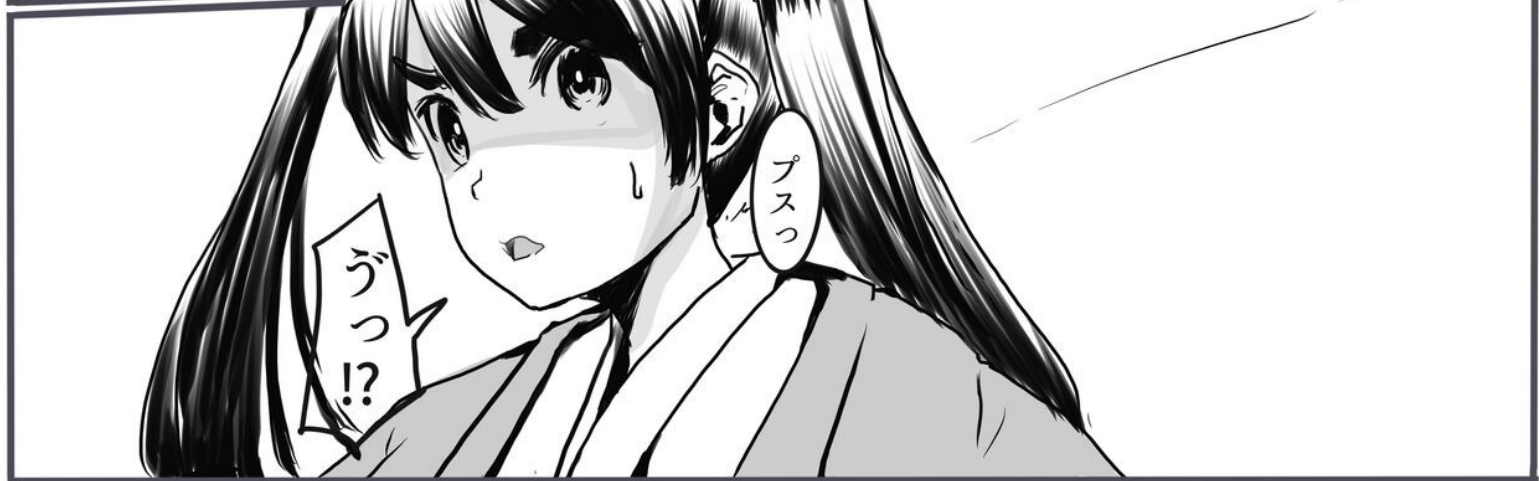
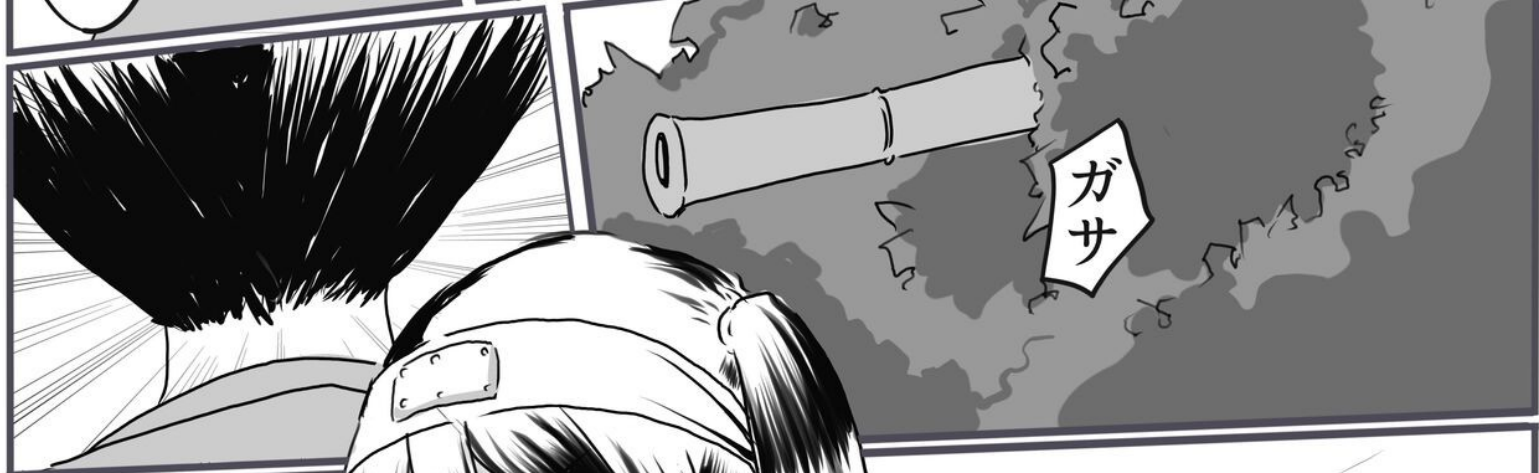
桐生院の剣技
篤と味わえ

いいだろう

力尽くで聞いてみな
鬼狩り

さて
どうだったかな

やはりお姉様はここに
来ていたのか





意識が
まずい



毒針!?

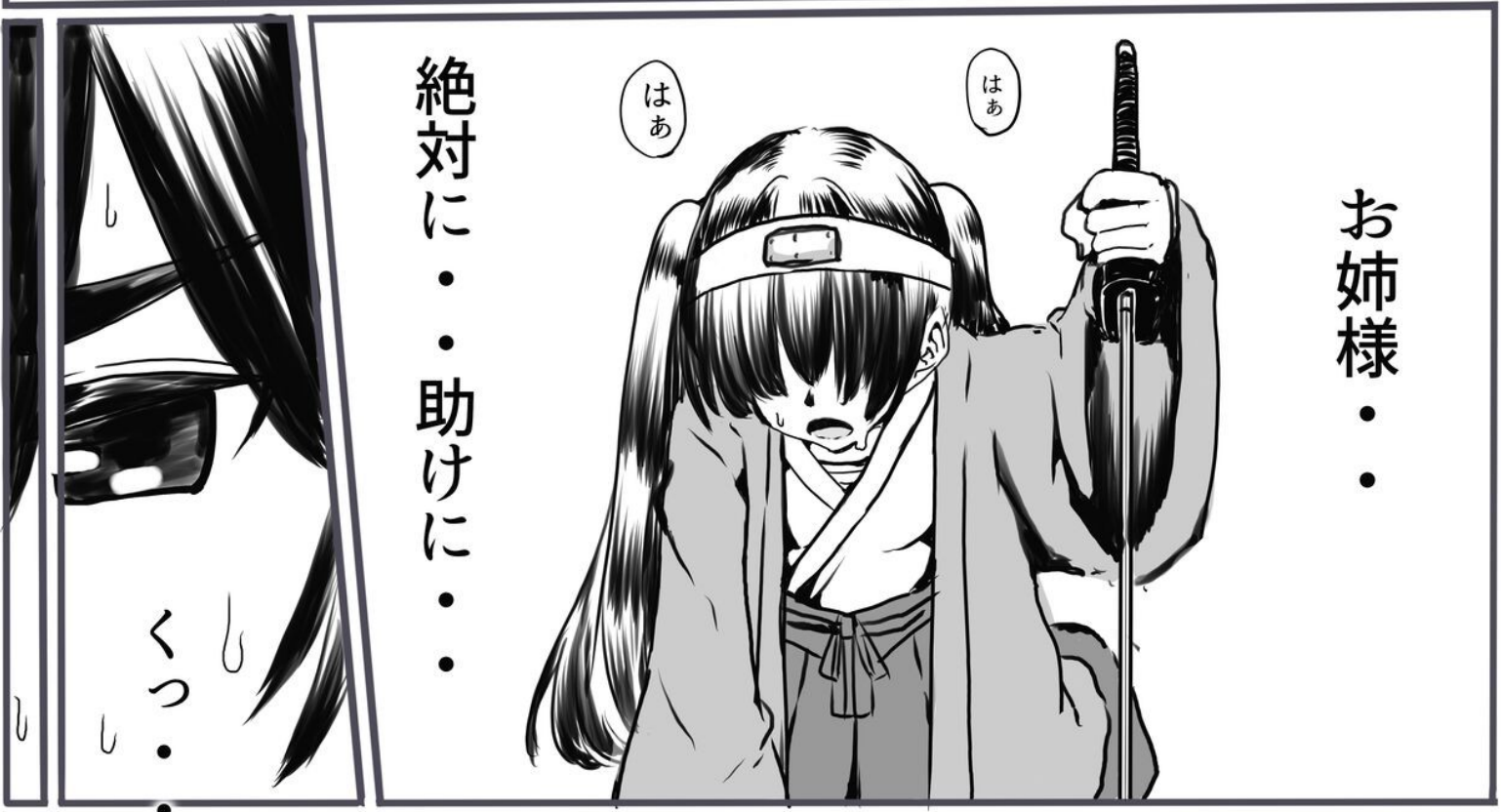
しまった
伏兵か

うわあ
うわあ



くそつ
小鬼風情に
してやられるなんて

ここで
倒れる訳には



お姉様・・・

絶対に・・・助けに・・・

はあ

はあ

くっ
し
し

森の洞窟



おい
起きろ小娘

んっ・・・

ここは・・・



ようこそ

俺たちの巣へ



たっぷり可愛がって
やるよ♡

えっ？

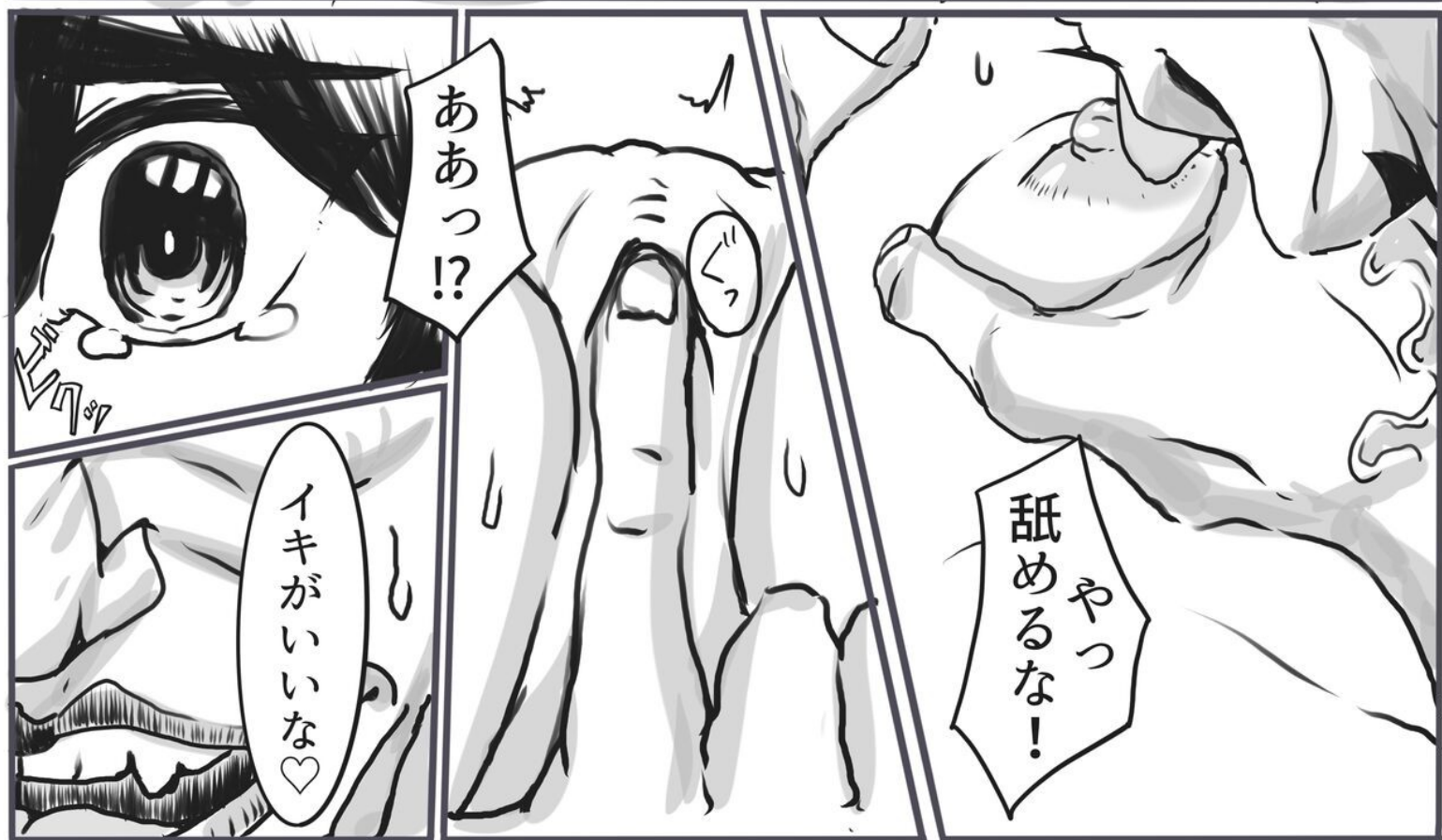


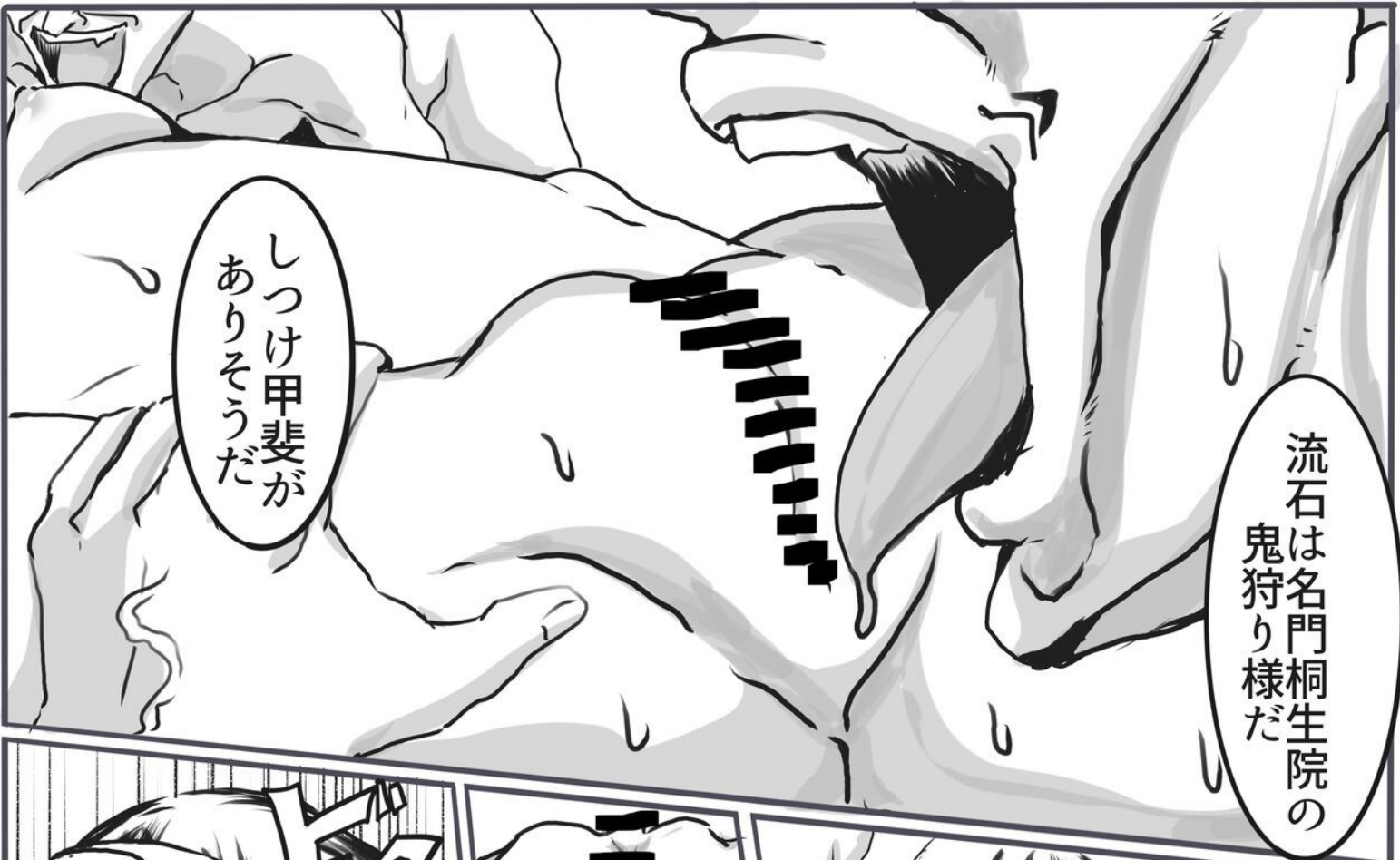
久しぶりの雌だ♡

何をする!!?
や、やめろっ

そらつヤロウども
剥いちまえ!

きゃあああ!





流石は名門桐生院の
鬼狩り様だ

しつけ甲斐が
ありそうだ



くうう!!



やつそこはつ

ダメだつ



柔っこくって
いい匂いもするな♡

良い雌肉だ♡

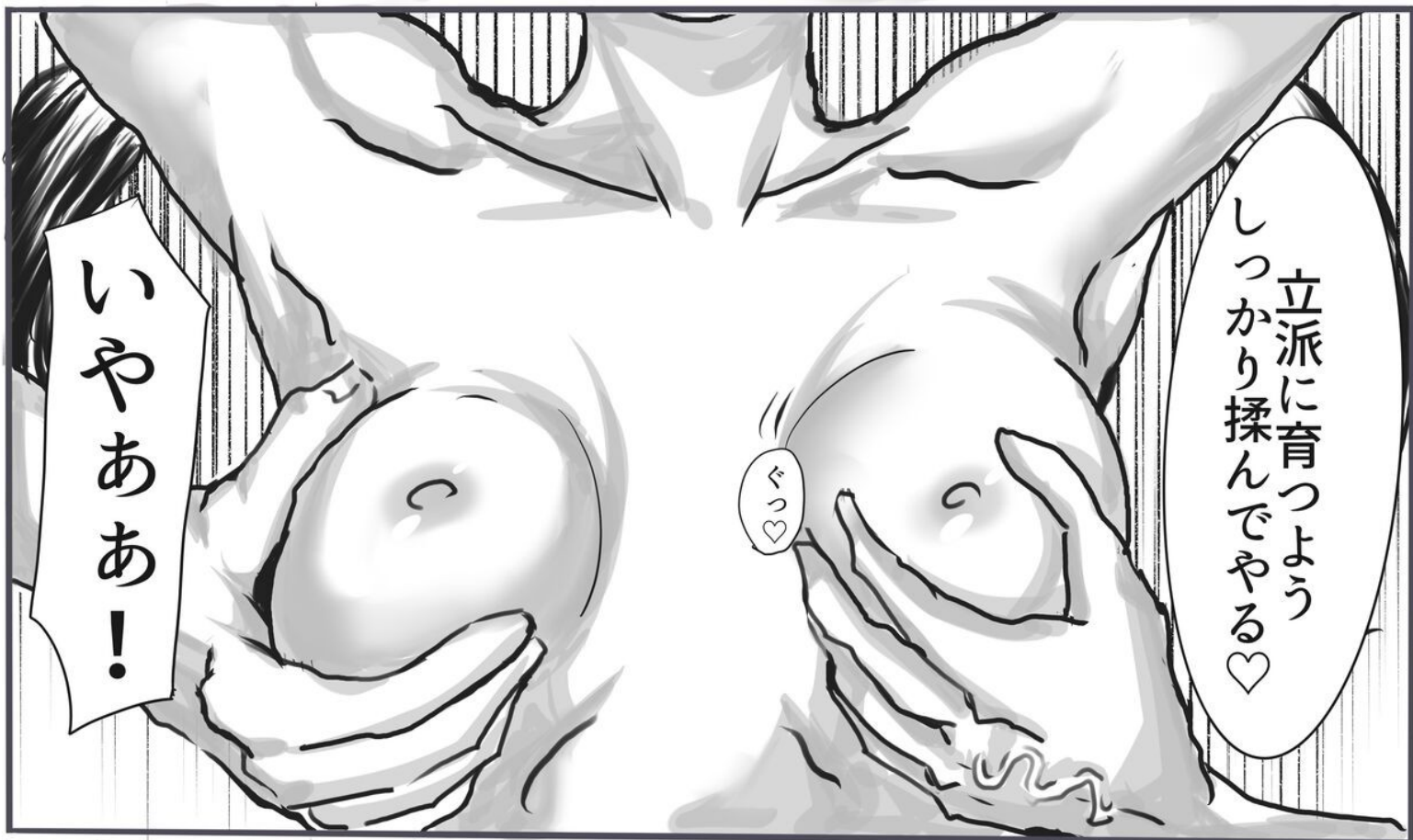
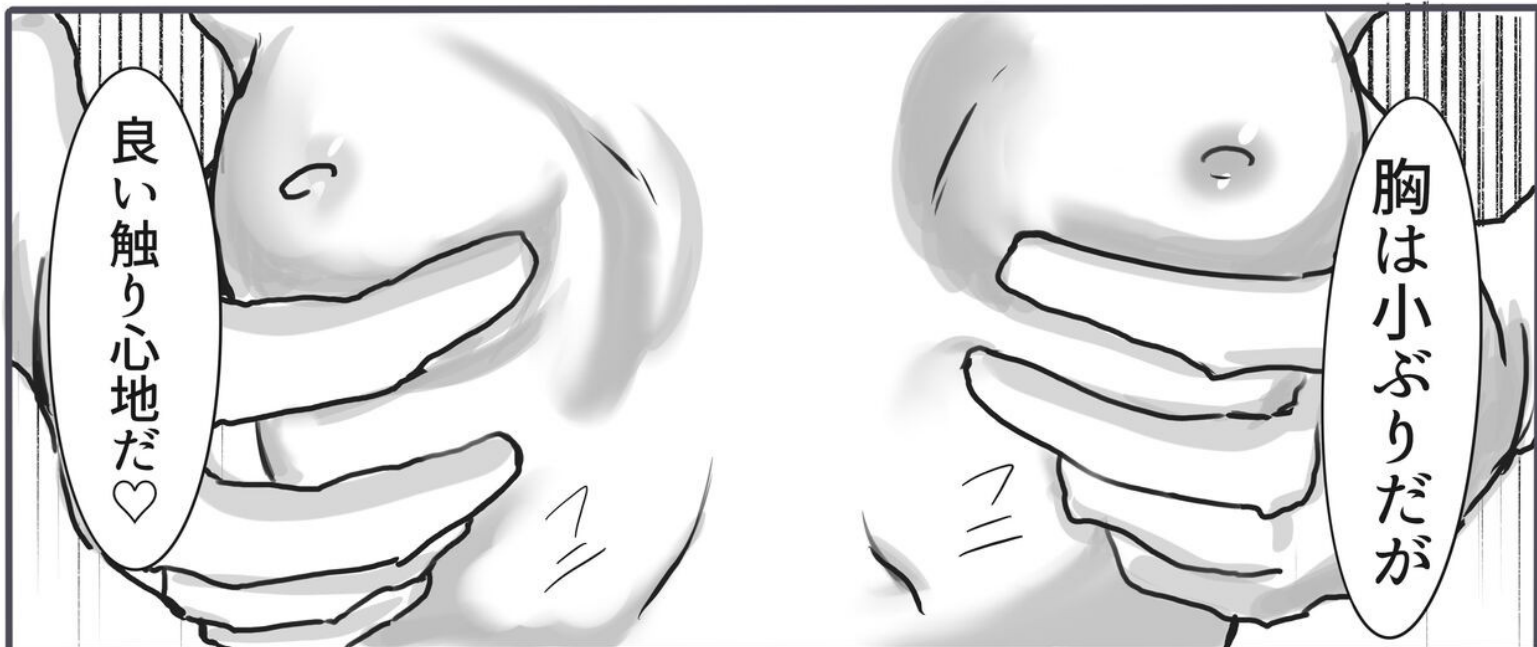
くっ!

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

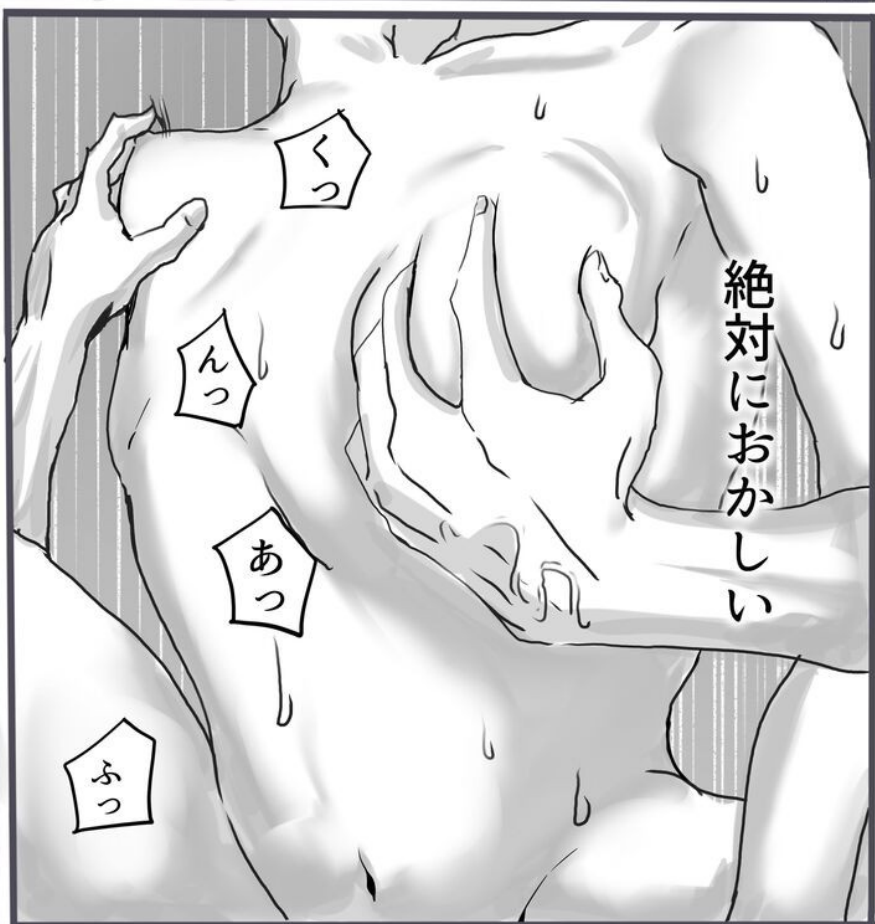
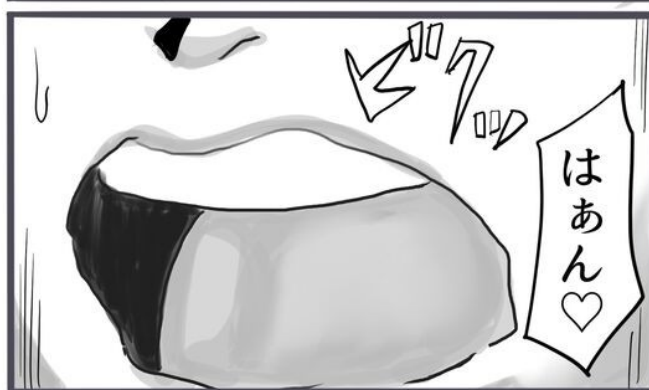
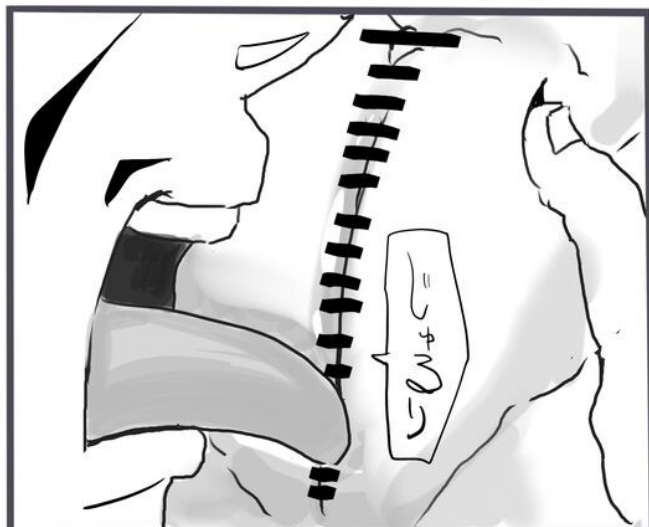
カリ♡

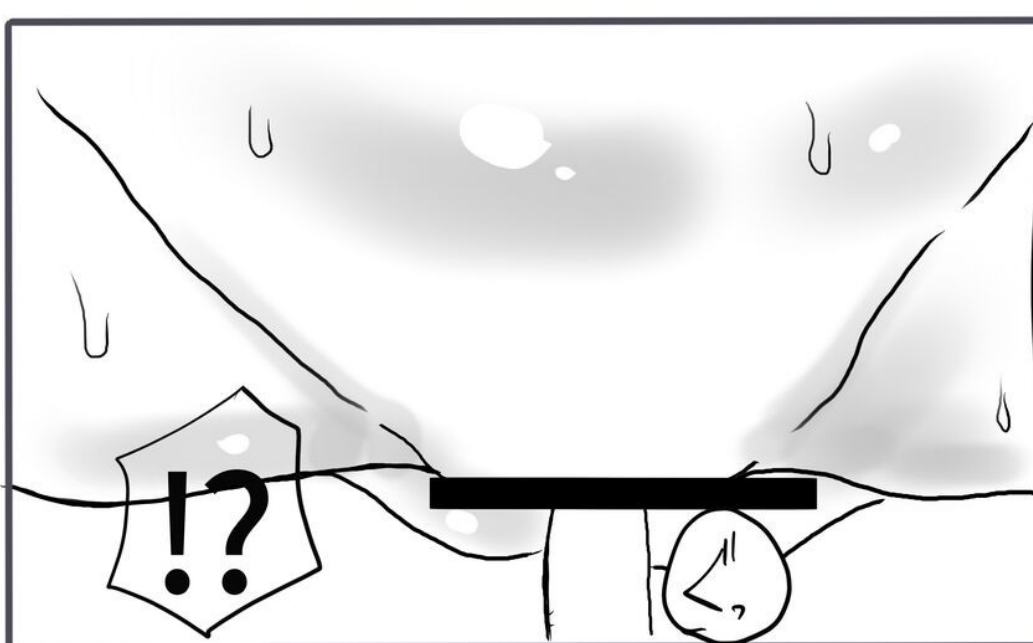
じつくりと
しゃぶらねー♡



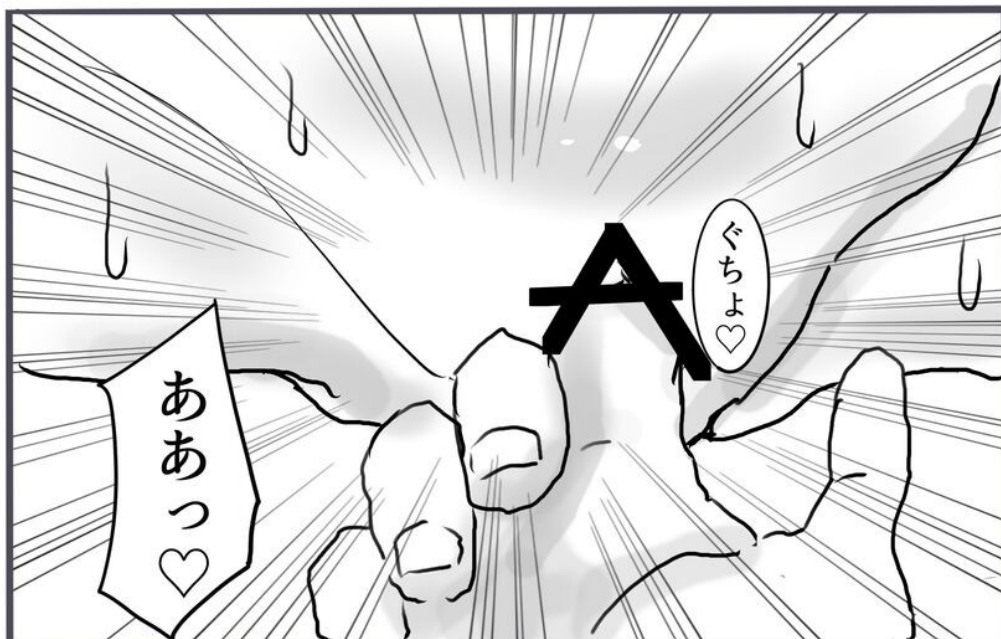
くそっ
なんて数の小鬼だ

これ程の数が報告
されていらないなんて





ま○この具合はどうかかな？
さて



ああっ♡



や、何をする
やめろ！



変な感じが…

や、やだ
やめろ抜いてくれ

ぐっ

聞いたか
八代

鬼狩りがまた一人
ここへ来たそうだ

あっ

鬼狩り...

女の鬼狩りだ

はっん

なんだよ
つれない反応だな

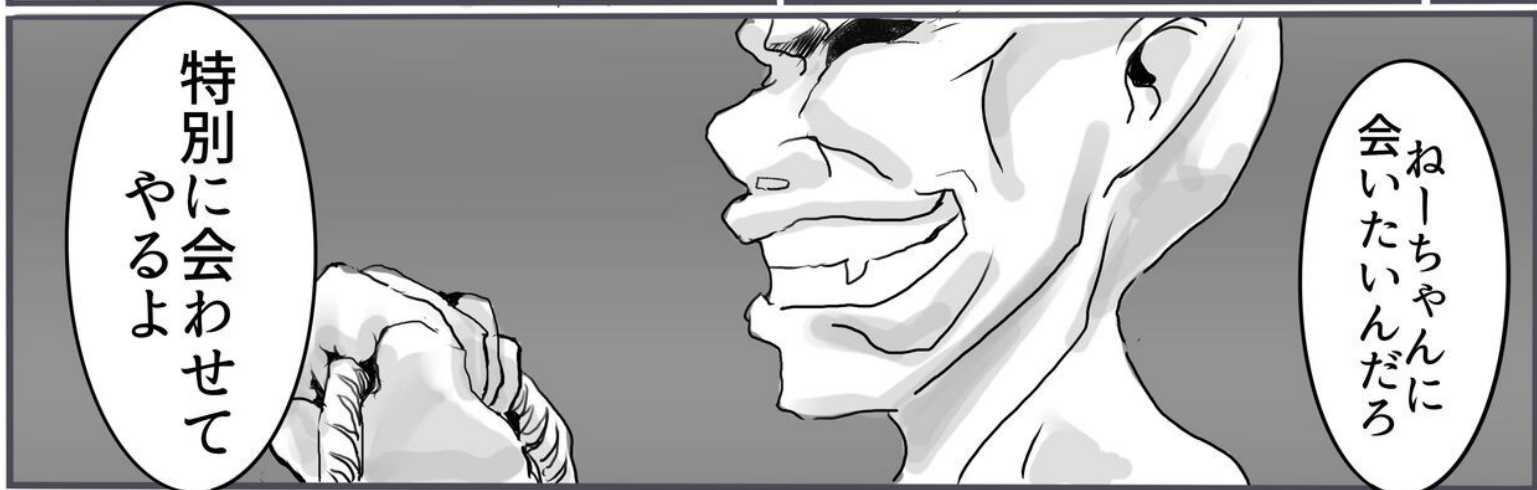
そう...ですか

顔見知りかも知れんぞ

はあ

はあ





お姉様なんで？

そんな鬼に良いようにされているの

あん♡

剛鬼様♡

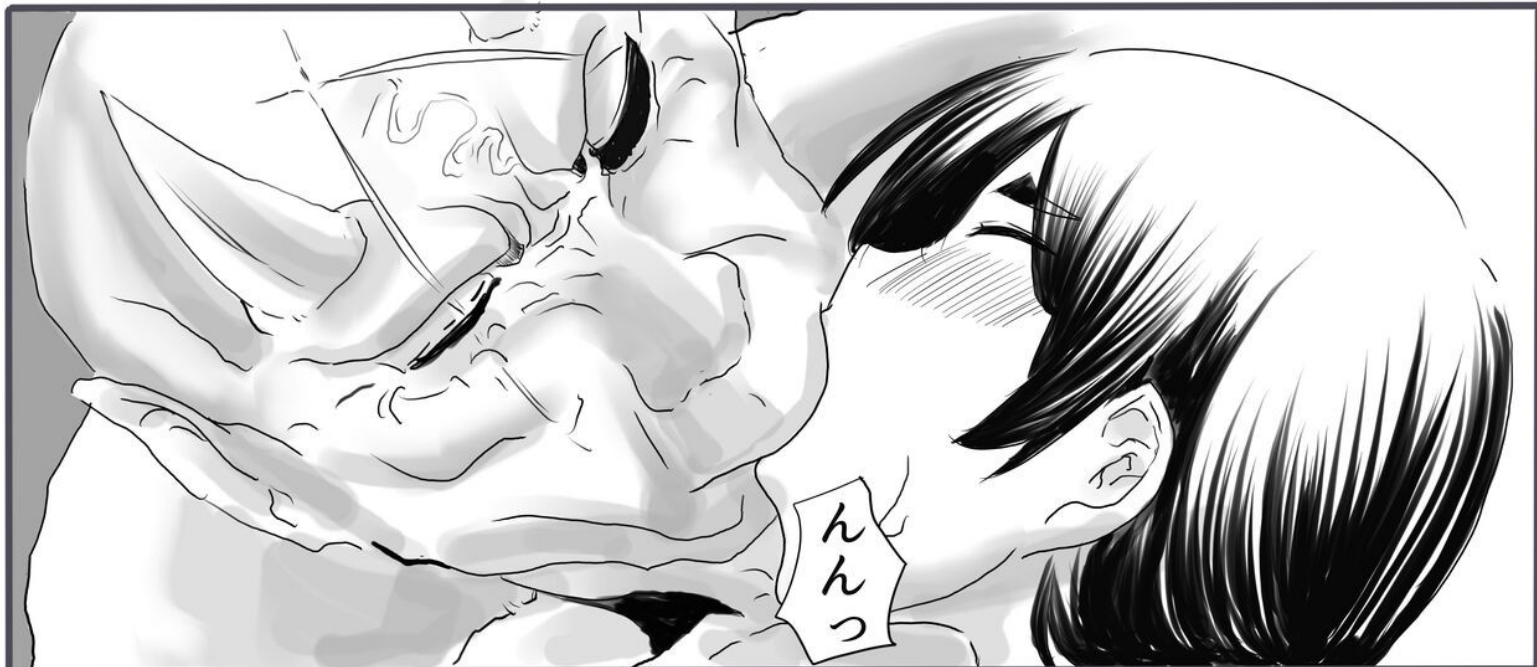
はあ♡

はあ♡

お姉様は凄く強いから
倒せるでしょ？

私の憧れの

お姉様・







背中の刺青は
兄貴の女の印だ

あの強えー女が
俺たちの兄貴の前じゃ
ただの雌も同然



お前のねーちゃんは
毎晩洞窟中にえろい声
響かせてるんだよ

お姉・様



やつ!

雌は雄に大人しく奉仕
していれば良いんだよ



あっん♡

見るあの顔を

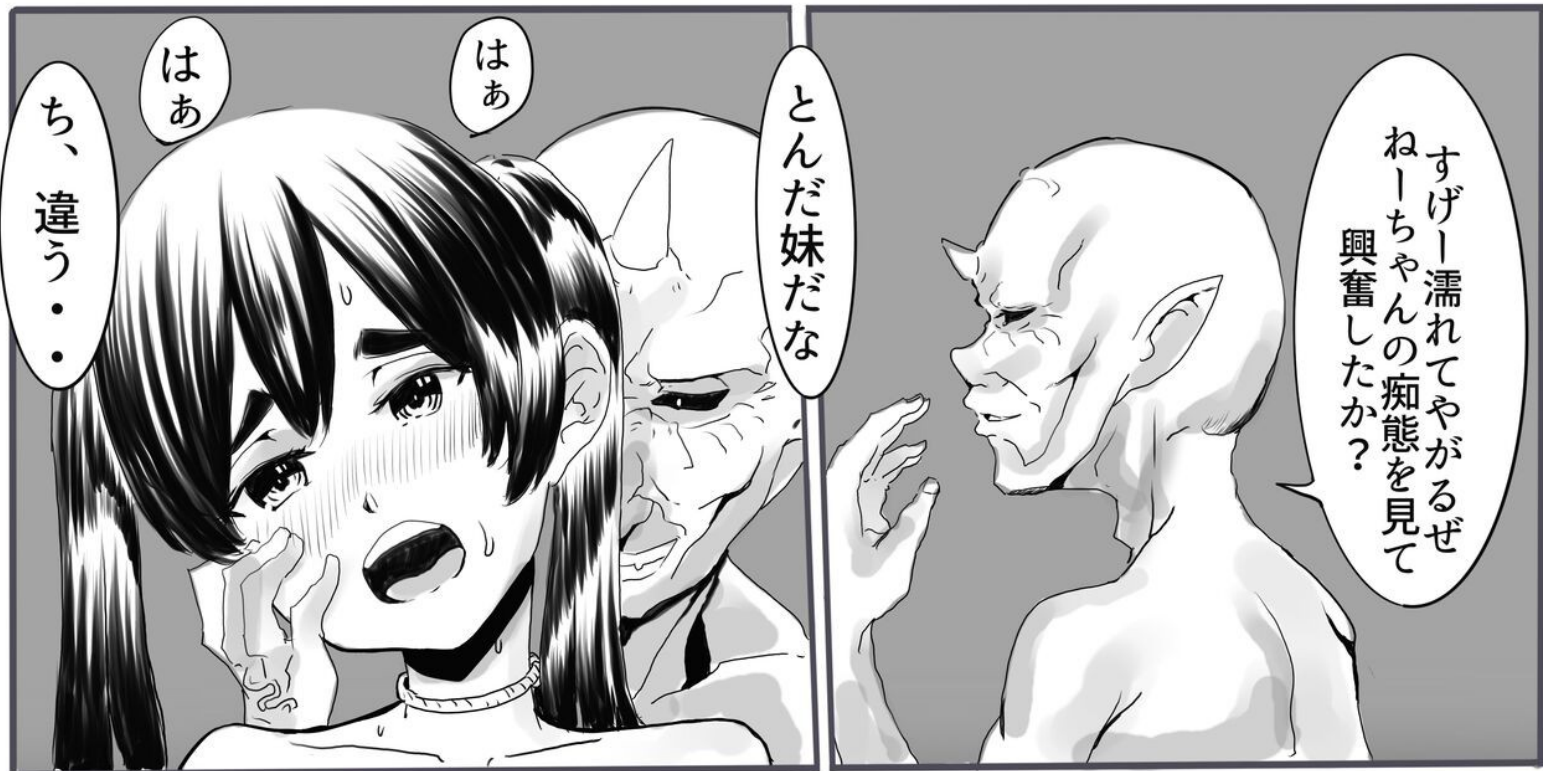
あん♡

肉の快樂を知った
女の顔だ♡

お前もそうなる♡
雛

!?





ち、違う・・・

はあ

はあ

とんだ妹だな

すげー濡れてやがるぜ
ねーちゃんの痴態を見て
興奮したか？



んんっ！

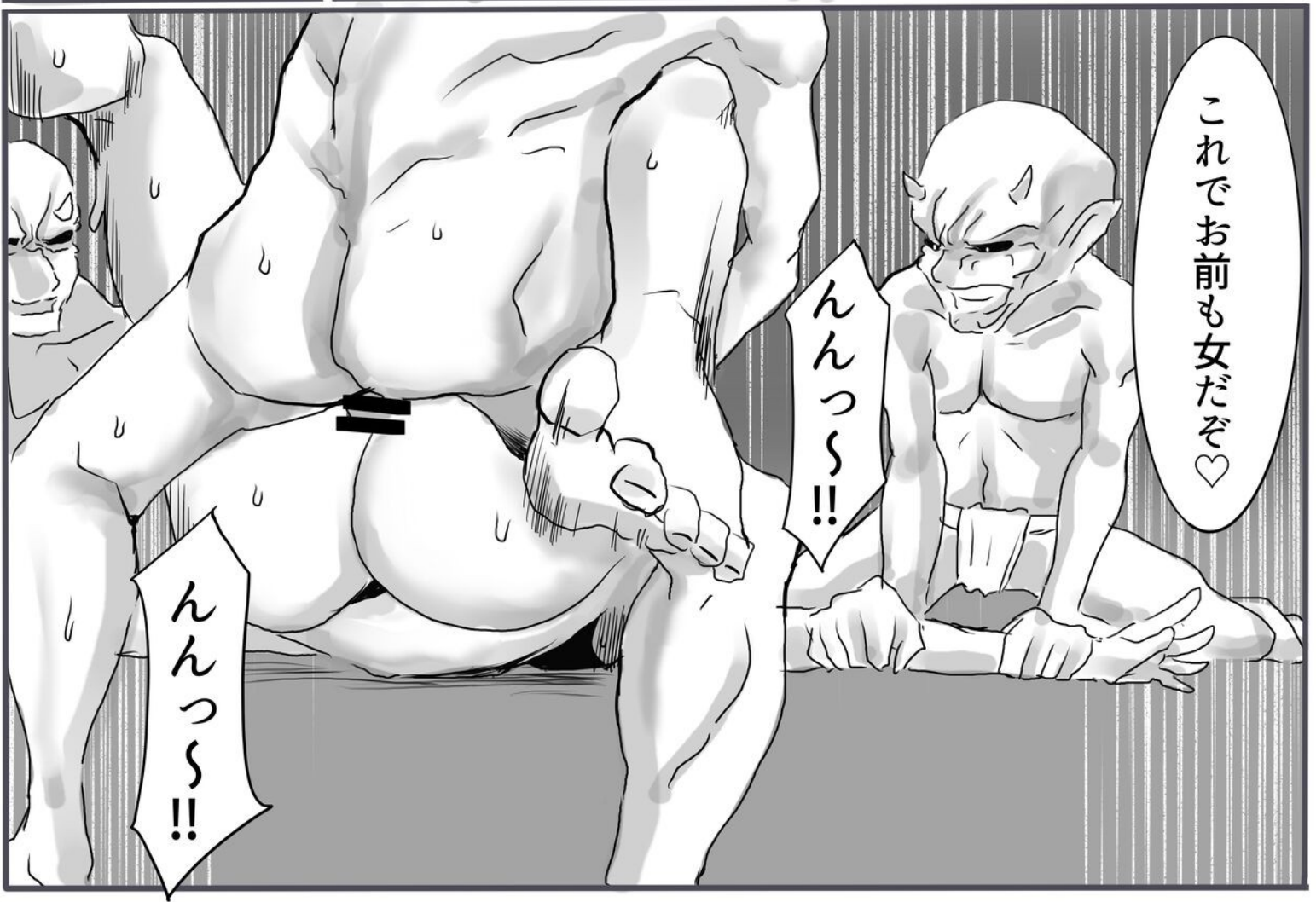
今楽にしてやる♡

俺たちのち○ぽでな

くっ

[Censored text]

[Censored text]





射精ぞ！

んんっ

んんっ
♡♡♡

魚みてーに
ビクビクしてやがるぜ

フッー



その後も雛は小鬼の巢に戻り
小鬼達にその躰を貪られ続けた

あんっ♡

あっ♡

んっ

んっ

敬愛する姉が鬼の手に堕ちた
事実はどうすることもできず

小鬼の陵辱に耐えるしかなかった

躰は穢されても

心までは穢されまいと

射精ぞ

ひたすらに

屈辱に耐えるしか
なかった



外も中もしつかりと
マーキングしておかねーとな

お前は俺たちのモノだ



外道共め

絶対に許さない

必ず斬ってやる

くうっ

きつと手練の仲間が
助けに来る

ああんっ♡

それまで何としても

耐えるんだ!

だめだつまた
凄いのが昇つて♡

私の事を追い込んで♡

イツちまいな
小娘♡

はん♡

はっ♡

しゅん♡
ん♡







お姉・・様



雛・・



立派になったわね

これならちゃんと孕めそう♡

えっ？



ごめんなさい
私が弱いばかりに
雛をこんな目に合わせて
しまうなんて

いいんですお姉様
再び会うことができただけで
私は嬉しいです

お姉様一体何処に・・・

ごめんなさい
雛を助けるにはもう
これしかないの

？それはどう言う・・・

そいつがお前の妹か

大鬼！

中々いい面構えだ

反抗的な目だな

俺が憎いか？

剛鬼様どうか我が妹にも
剛鬼様の子種をお恵みください

なっ!?

お姉様何を言っているの!?

正気ですか!?

雛もお願いなさい
それともこのまま
小鬼の玩具にされるつもりですか?

そんな・

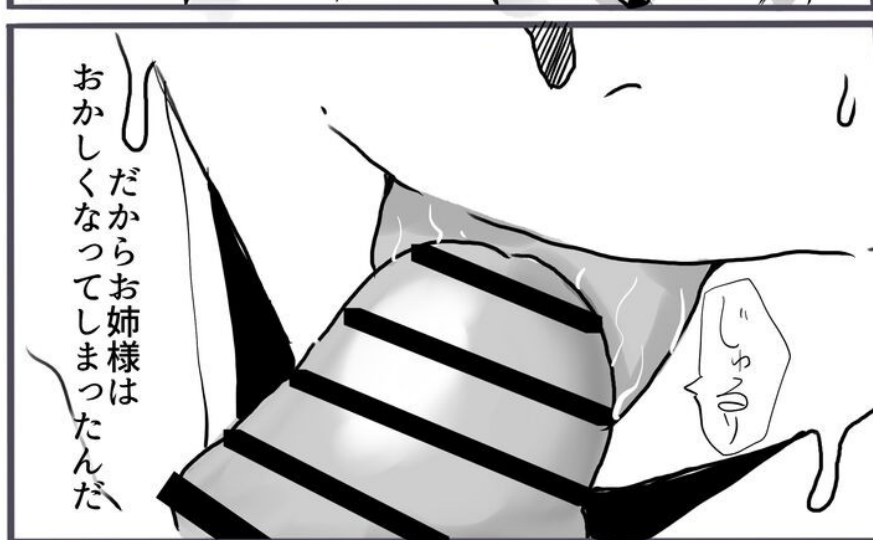
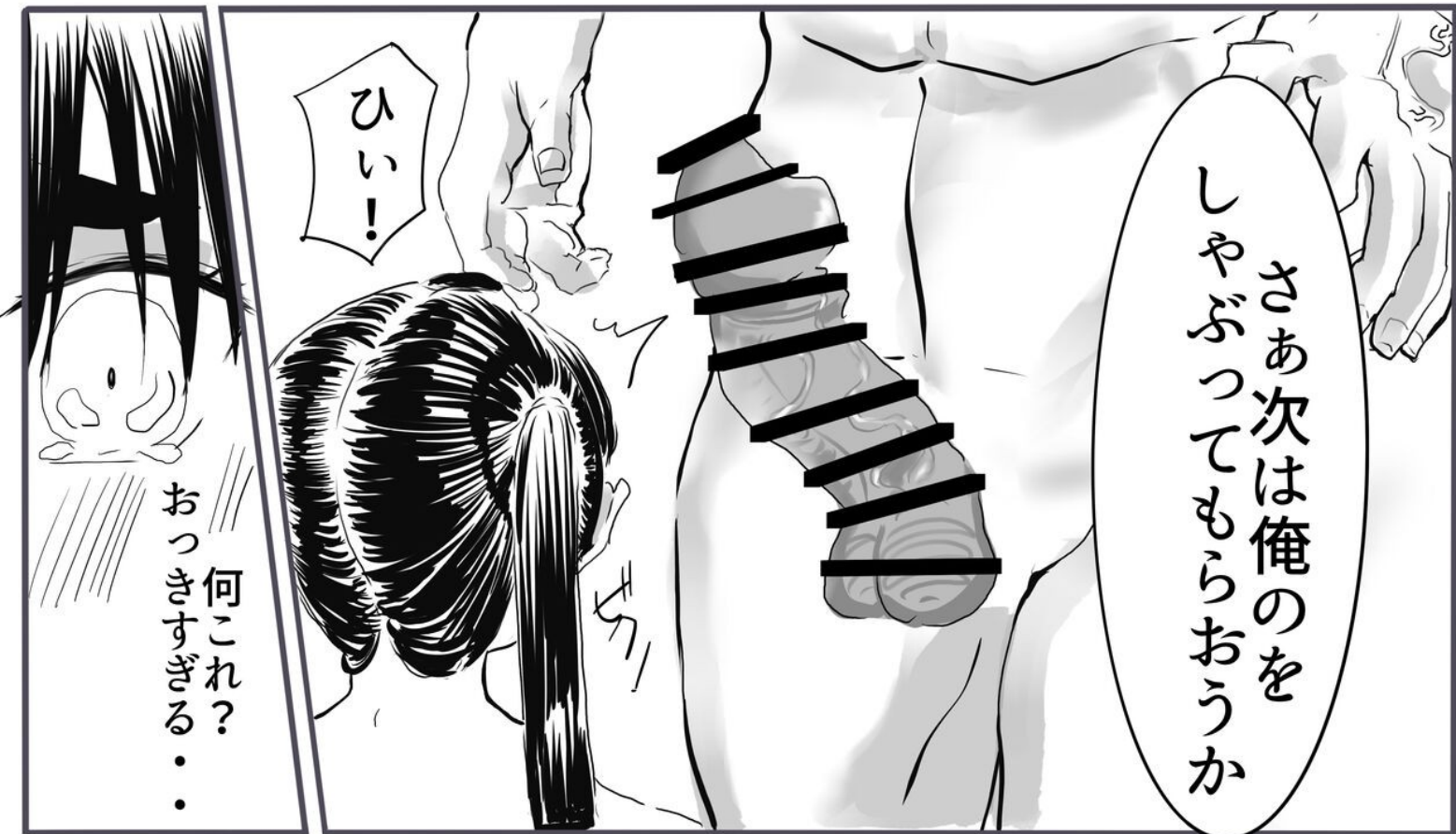
私は

我が子種くれてやる

孕んでみせろ









お姉様を救ってみせる！

そして必ず



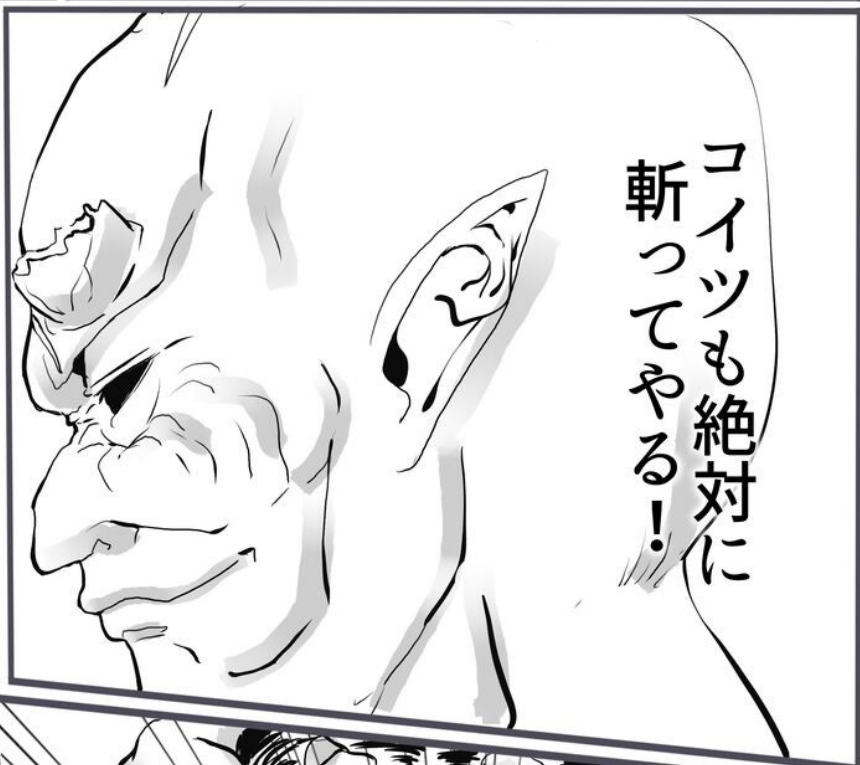
私は屈しないぞ

こんな肉欲なんかに



桐生院の名にかけて

んっ



コイツも絶対に
斬ってやる！

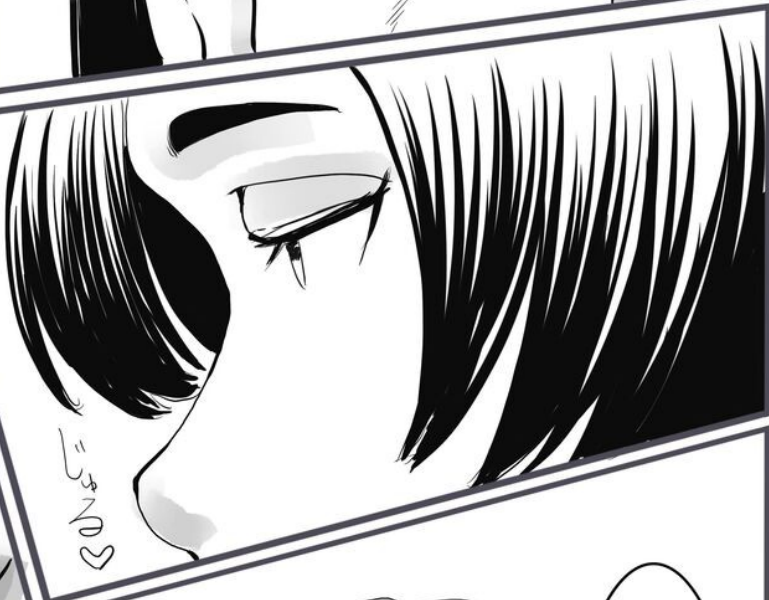
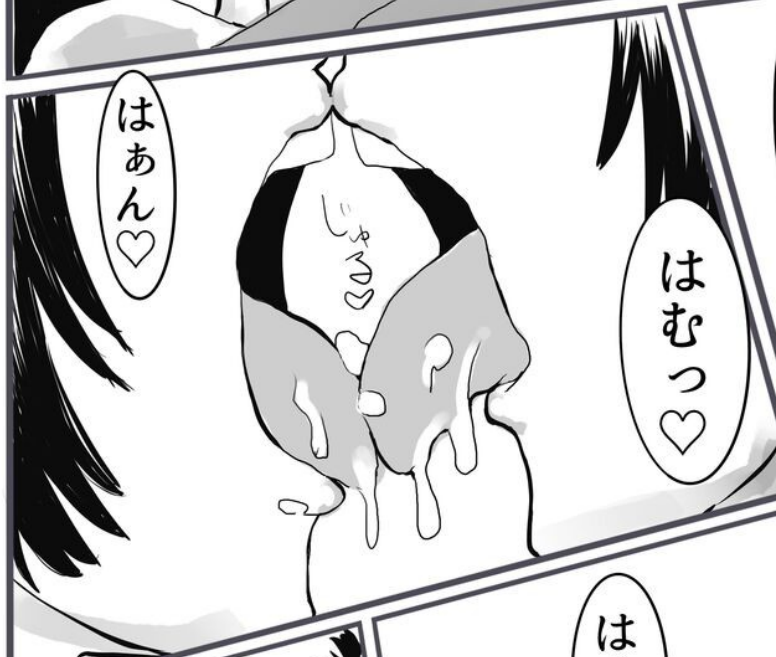


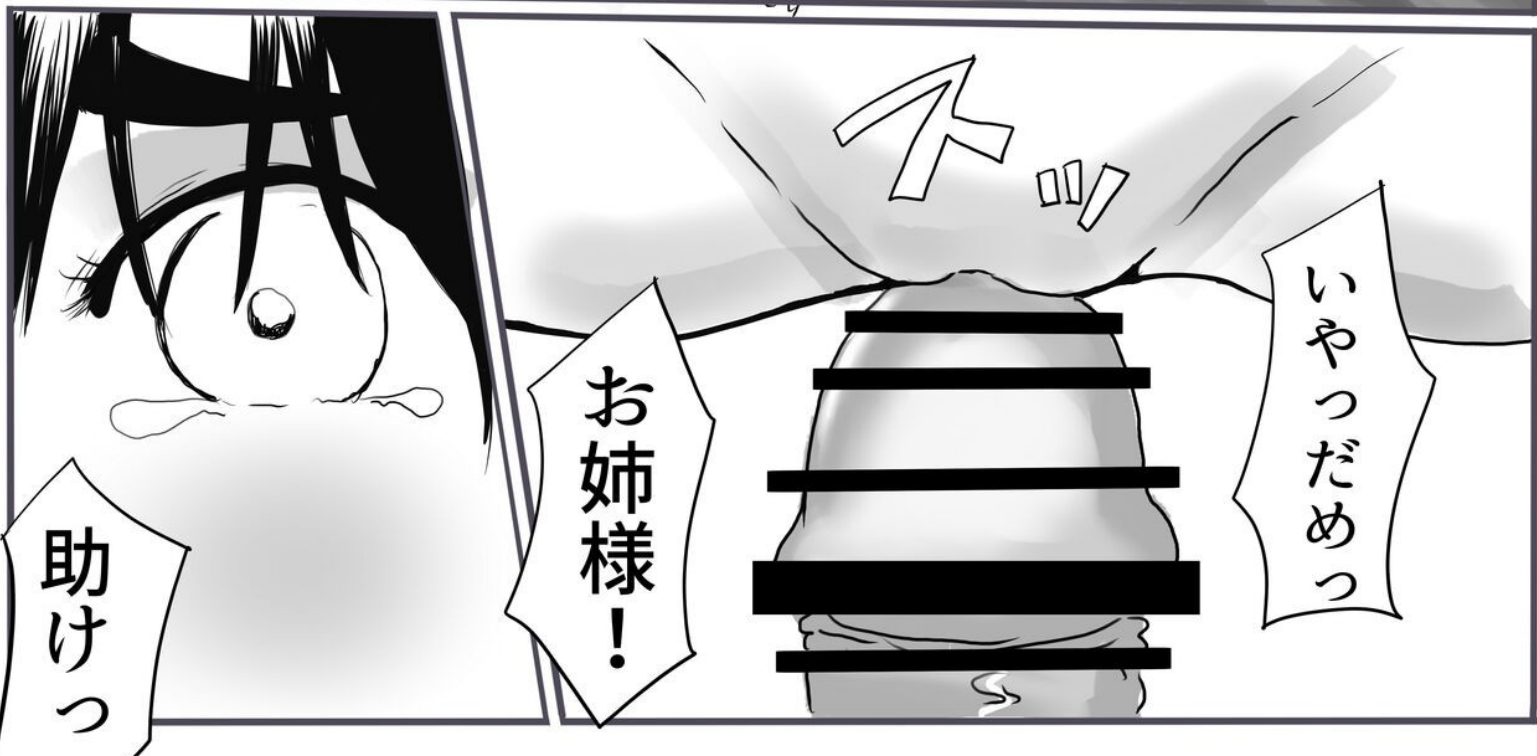
こぼ
零してはダメよ
全て飲みなさい♡



射精ぞ

んっ！









どうだ俺様のち○ぽの味は！

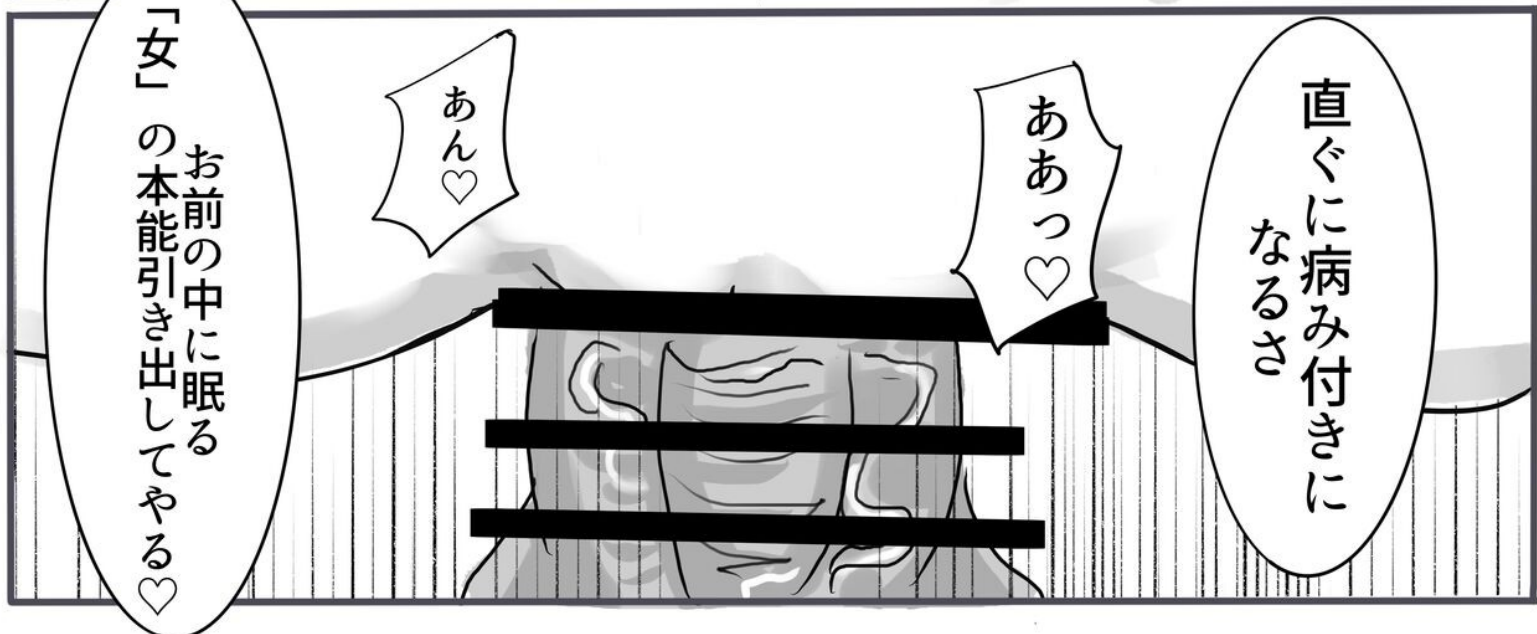
小鬼とは比べ物にならんだろう

あっんっ♡

あっんっ♡

やっめろっ！
動くな♡

く、苦しい♡



直ぐに病み付きに
なるさ

ああっ♡

あん♡

「女」
お前の中に眠る
の本能引き出してやる♡



今は耐えるんだ

はんっ♡

あん♡

んあっ♡

ああっ♡

はんっ♡

あん♡

だめっ
我慢できない♡

ギャ♡

んっ♡
んっ♡

こんな逞しいモノで
突き上げられたら♡

にゅ♡

私は女になるしか

ひゃん♡

弾ける♡

ああっんっ♡



その後も剛鬼は休む事なく
雛の躰を貪り続けた

やっ♡

もうだめっ♡

お願い許して♡

気持ちいいのはもうだめ♡

雛の心から反抗の意思を
徹底的に排除する為に

雛は快楽の苦しさから逃れようと
必死に身をよじり逃れようとするが
圧倒的力の前には虚しい抵抗だった

子宮は丹念に突き上げられ
少女の躰は排卵を促され

あん♡

あん♡

少女の意思に反して
躰は鬼の子を孕む準備を始める

ん♡

ん♡

雛はただ無力に犯され
自身がただの「女」である事を
思い知らされた

んっあぁあぁんっ

快樂の槍は少女を
容赦なく貫き一瞬の絶頂と
とめどない疲労感を与える

宿敵に深い快樂を与えられた事に
屈辱と罪悪感を覚えたが同時に
一人の「女」として躰が満たされた満足感もあった

鬼狩りの名門桐生院家に
産まれたモノとしての
プライドが唯一少女を支えていたが

快樂に堕ちるのはもはや
時間の問題であった

はっ♡

はっ♡



雛は甘えん坊さんだな

やれやれ



お父様
抱っこ♡



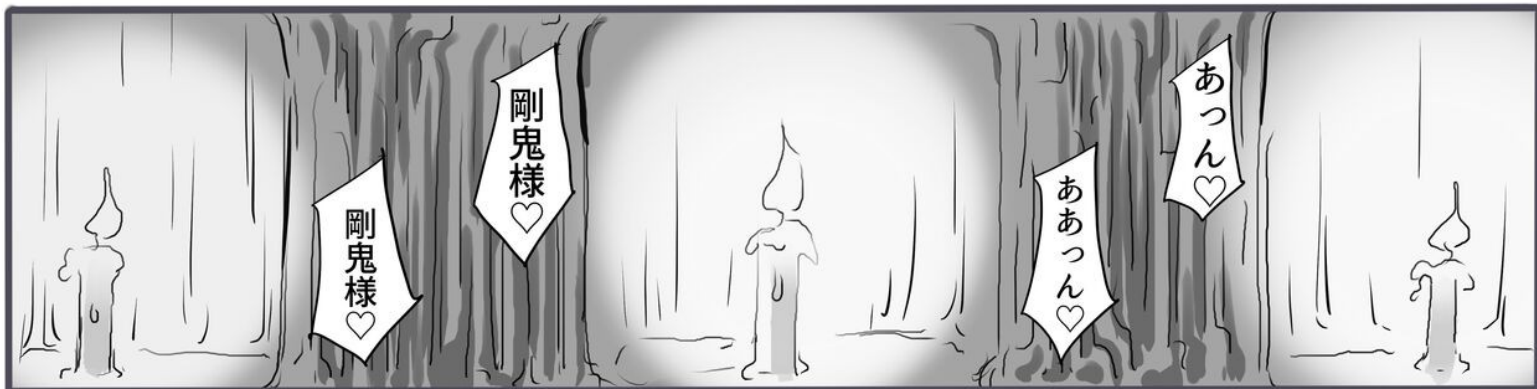
雛はちゃんと立派な侍になれるかな？



おいで雛

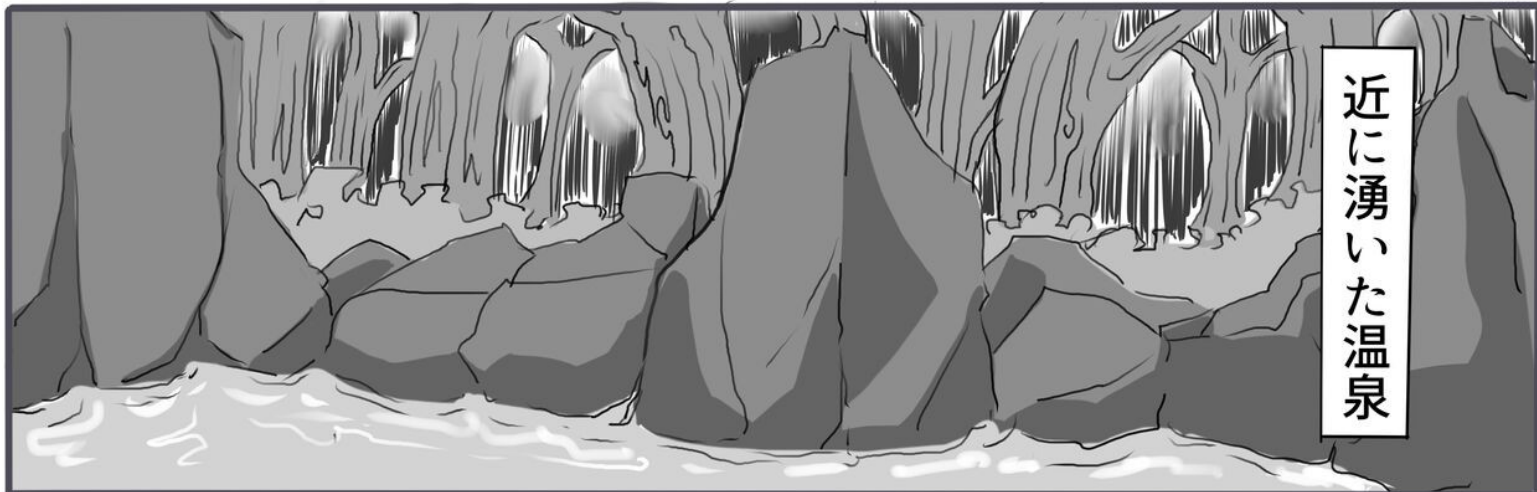


なるもっ♡





近に湧いた温泉





ああ悪くないぞ八代
お前の胸は心地いいぞ八代

剛鬼様如何ですか？
いかが



健気な胸部の奉仕も
悪くないな

私達姉妹はあなた様のモノ
何なりとお申し付け下さい♡

雛





雛、お前も二度と剣を持つ事は許さん！

我が妻となり
生涯を俺に捧げよ！

桐生院の誇りも
研鑽した剣技も全て
捨て去れ！

誓います
剛鬼様♡

桐生院を捨て
あなた様の妻に♡

鬼の子を孕ませて♡

見返りに
極上の快楽をくれてやる





雛とっても素敵だったわよ

剛鬼様の逞しいお○ぽ
気持ちよかった？

お姉・様♡

はぁ♡

はぁ♡

もうすっかり「女」なのね♡



大丈夫よ
きっと鬼の子を身籠れるわ♡

私達は女としての役目を
果たしましょう♡

数ヶ月後

雛のお腹も随分
大きくなったわね♡

もう時期臨月です

雛、脱いで
臍をよく見せろ

はい♡

かしこまりました

剛鬼様





背中も見せろ



よく育っているな



はい



はい剛鬼様
鬼に繁栄を♡♡

その刺青は俺の
女である証だ
裏切ることも逃げる事も
許さんぞ

出産の時

はあ♡

ああ♡産まれる

鬼の赤ちゃん
外に出たがつてる♡

はあ♡

ああ♡
凄にお腹で暴れて♡



はあ♡

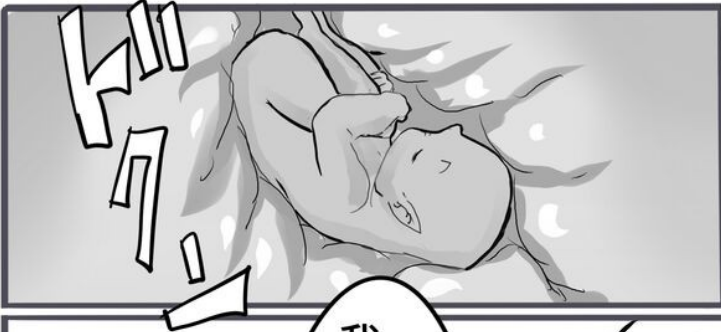
雛っ頑張るのよ♡

お姉ちゃんが
ついてるからね♡

はあ♡

ああ♡お姉様♡
私本当に鬼の母親に♡





まさか桐生院家の当主様が
直々にお出でなさるとは驚きました



何と心強い

どうか我が村をお救いください

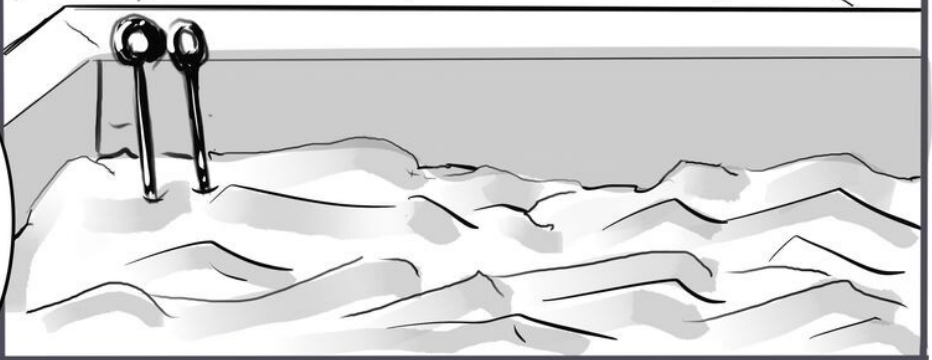


後は私が責任を持って
全て片付けますので
ご安心ください

身内が不甲斐ないばかりに
とんだご迷惑を
申し訳ありません

名門桐生院家現当主
桐生院 ^{せつな} 刹那

鬼狩り様



続